

サンゴ調査ポイント

現在、伊豆半島におけるサンゴの分布状況などを把握するため、
下田海中水族館・新江ノ島水族館・筑波大学（50音順）
の三者で共同研究として調査を実施している。

田子
2019/10/30

菖蒲沢
2019/1/29

下田海中水族館
SHIMODA FLOATING AQUARIUM

菖蒲沢

2019年1月29日

天気：晴れ 波：穏やか

水温：15～16℃ 水深：0～15m

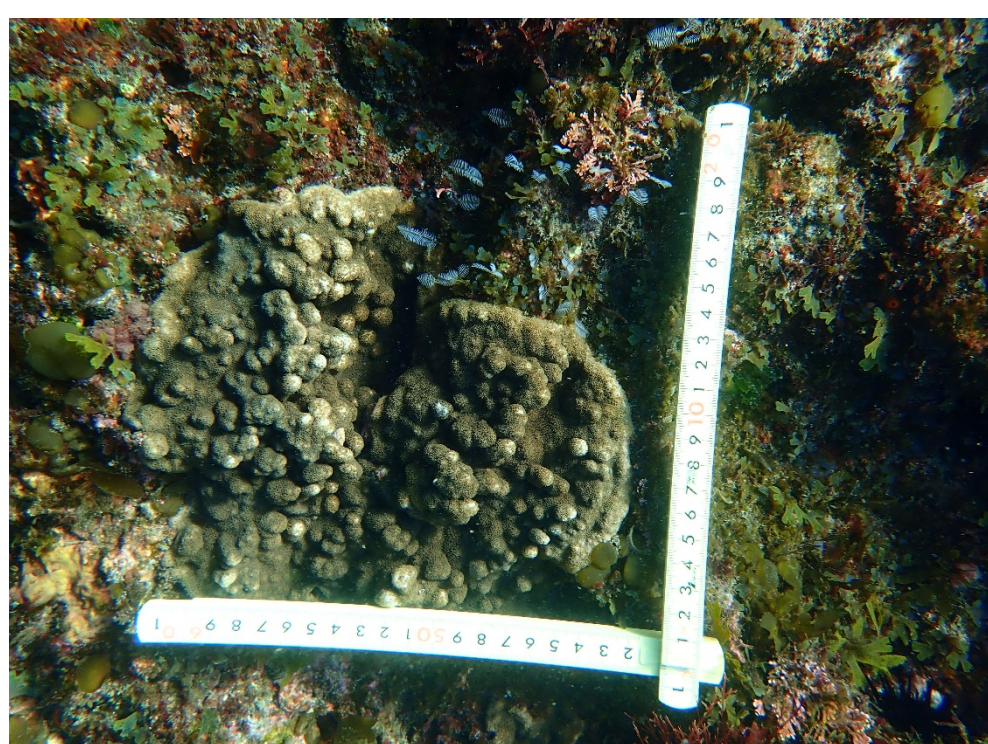
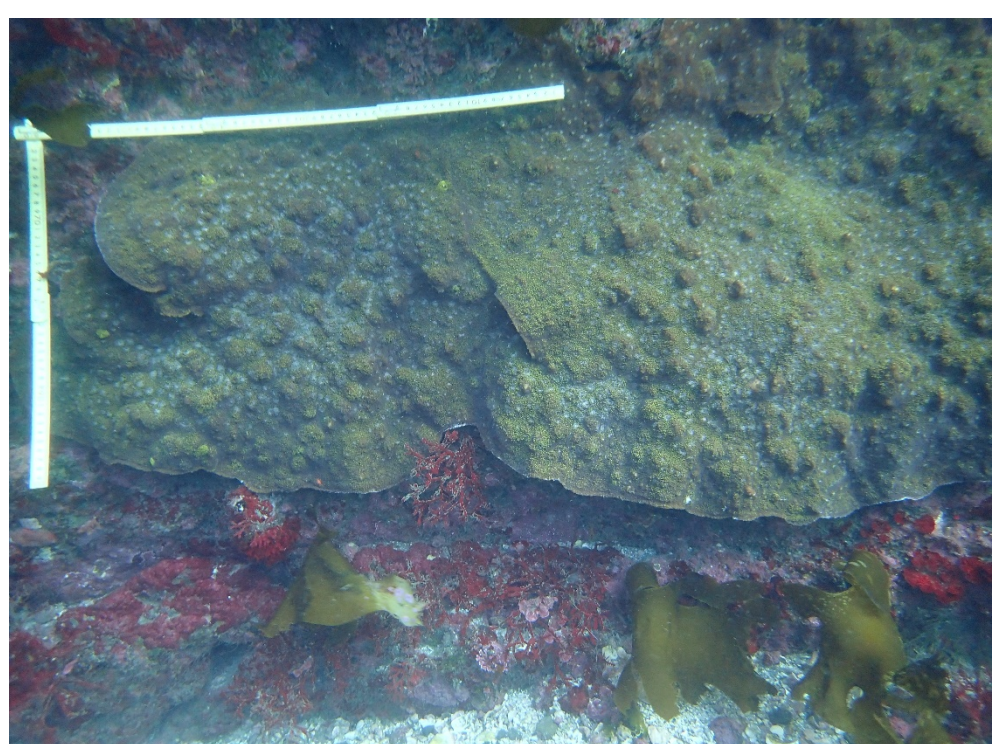
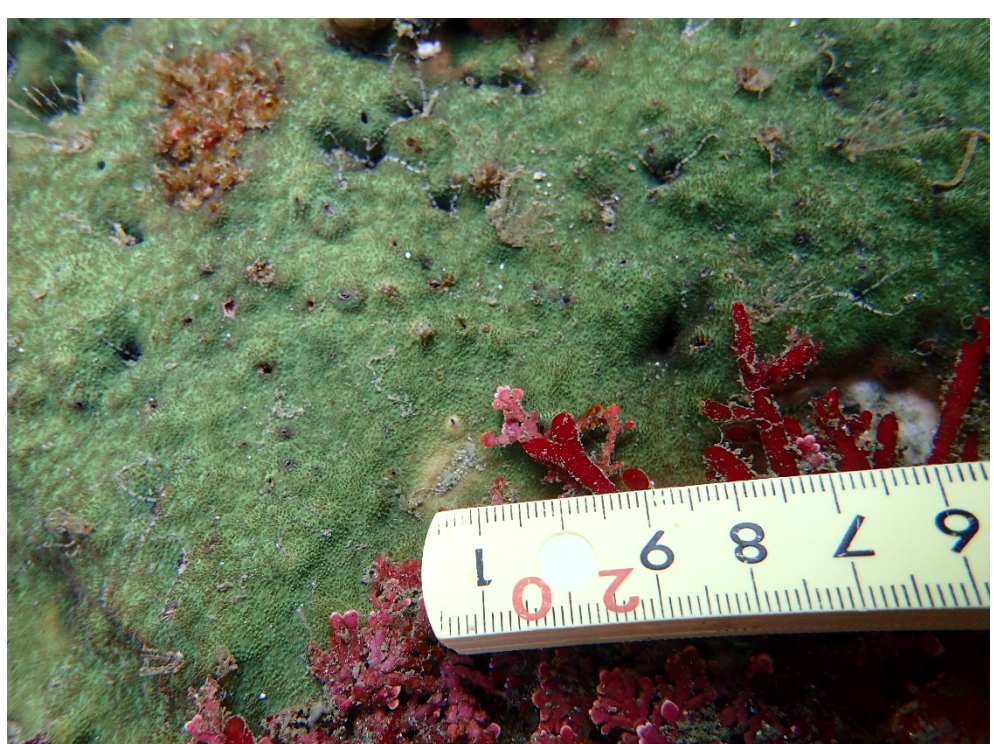
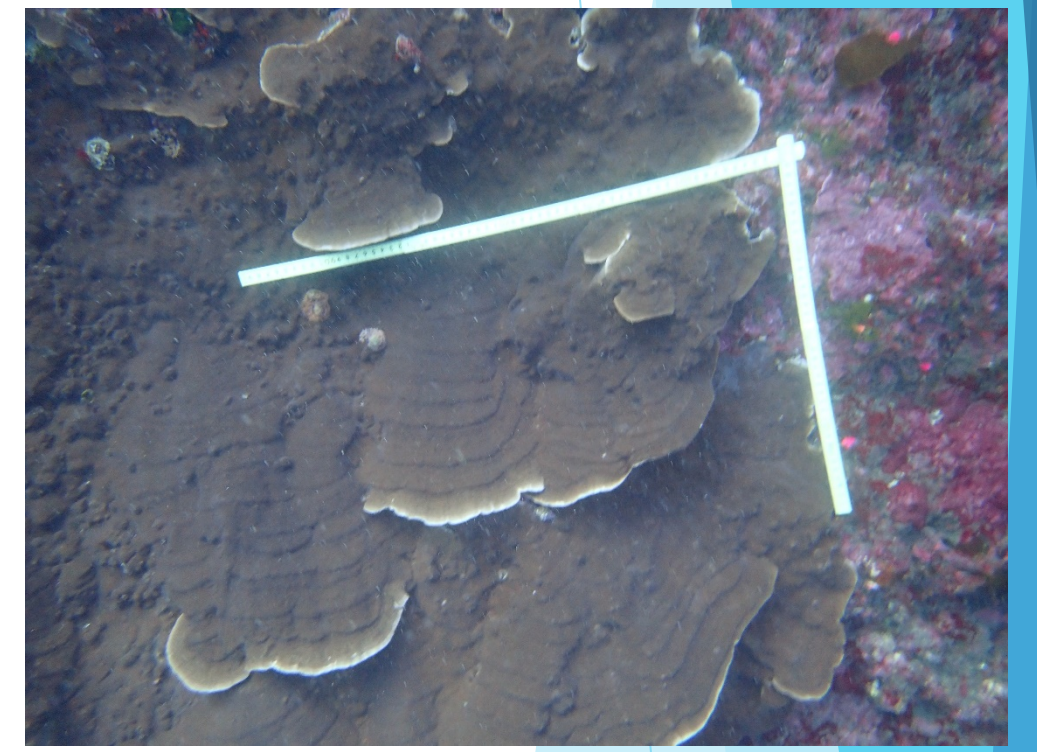
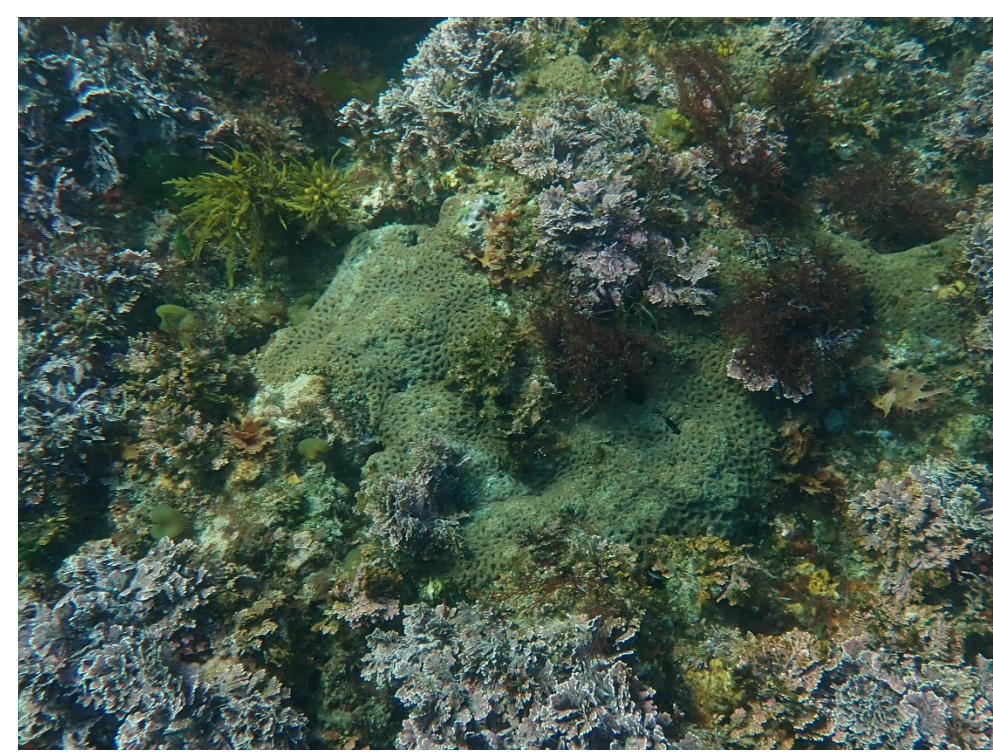
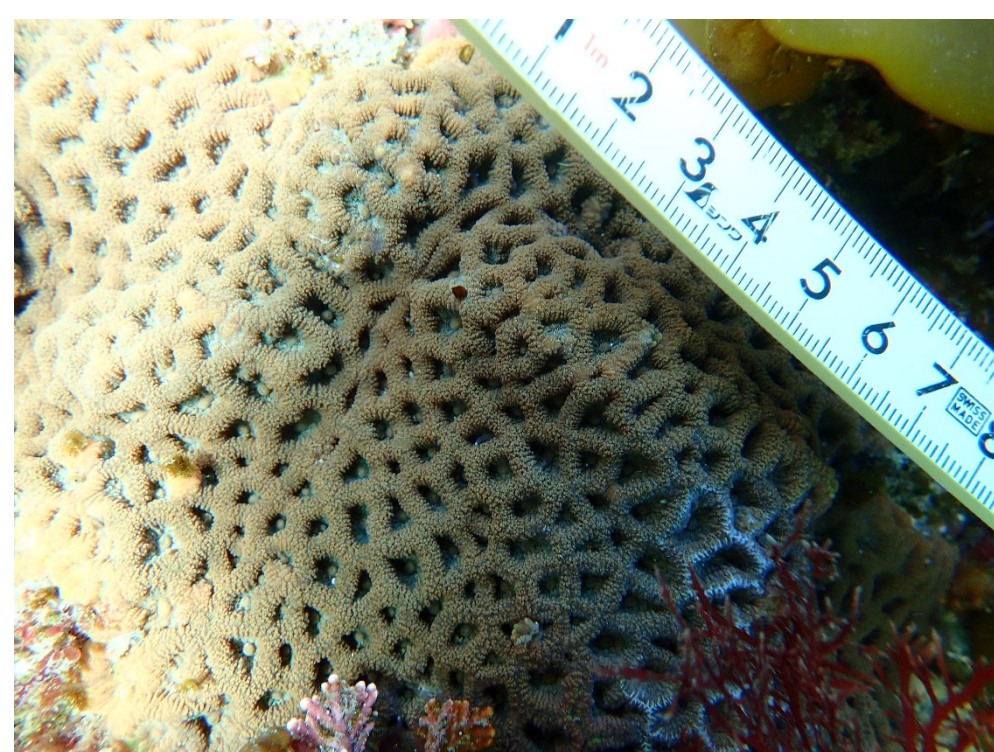
調査方法：

タイムサーベイ、コドラート、PIT法、ビデオライン法

～調査を終えて～

海藻が多く繁茂していたが、その間を縫ってサンゴも見られました。しかし、優先度としては海藻が圧倒的に多く、底質の調査では一度もサンゴに当たりませんでした。今後が非常に興味深いポイントです。

確認されたサンゴ



田子

2019年10月30日

天気：晴れ 波：穏やか

水温：24～25℃ 水深：平均水深10m 最深15.8m

調査方法：

タイムサーベイ、コドラート、PIT法、ビデオライン法

～調査を終えて～

海藻がほとんど見られず、サンゴ類が多くみられた。大型のものも多く、昔からサンゴが分布していたことが伺える。

確認されたサンゴ

